シネマズライフ

2014年9月5日発行 第67号 http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹 諒音（たかぎ りおん）

【最近のこれはお見事！】『アルゲリッチ 私こそ、音楽！』音楽家ってやっぱりこのくらいの気概がないと！

【最近のこれはまずいぞ！】『バルフィ！人生に唄えば』現在も公開中の傑作、ぜひご鑑賞を。しかし、この題名はいけません。確かに宣伝には踊りはないとありますが、この題名だと「きっと楽しい」と思い鑑賞して落胆した人も多かったのでは？

映画の風景 日本の風景

※ 淡路ワールドパークONOKORO バッキンガム宮殿 ※

昔・『英国万歳！』という映画があった。こんな映画だ。

18世紀のイギリス。国王ジョージ3世の様子がおかしくなった。奇行が増え殿々様子がおかしくなる。

しかし、ジョージ3世はまじめな男で、国民にも人気があり非の打ちどころがない。周りの重臣達も狡いに困惑する。

一方、皇太子のジョージは素行が悪く、借金も抱えていた為、早く皇位を継ぎたかったがジョージ3世が元気で皇太子の地位に甘んじていたがこれをチャンスと見て、クーデターも辞さない状態に。

とりあえず重臣達は田舎にジョージ3世を隔離し、巷では荒療治で有名な精神分析医ウィリスに治療を託す…。

まだイギリス王室に実権があった時代。実話を元に王室で起こった事件の悲喜こもごもを描く。

権力者でありながら周囲の《なんやねん、お前》的な無言の圧力が物悲しい。

イギリスの舞台劇の映画化。主演のナイジェル・ホーソーンは、舞台版にも出演した狂気ぶりがお見事。妻のシャーロット王妃をヘレン・ミレンが演じ、愛情深い王妃を演じている。

出来の悪い王様なら簡単に廃帝にできるが、評判のいい王様だった為余計話がややこしくなるという所が面白い。

淡路ワールドパークのバッキンガム宮殿は本物そっくり！淡路島で宮殿を訪ねにわか王様・王妃気分になってみるのも楽しいかと。

『英国万歳！』1994年 イギリス・アメリカ 監督：ニコラス・ハイトナー 原作 脚本：アラン・ベネット
出演：ナイジェル・ホーソーン ヘレン・ミレン イアン・ホルム

狂気の原因は今日では精神疾患の"ポルフィリン症"と確認されていて、現在でも治療法がない難病。イギリス王室が王家との浅い家系の人物と婚姻を考える理由はよくわかる。

コラム

ドラマで人生が見えるのか？

後編

娘役の新山千春・川崎亜沙美・安田美沙子もモデルの三姉妹に印象がそっくり。特に長女・優子と次女・直子の《才能と母の愛》をかけての争いは実にリアルで凄みがある。

また、綾野剛演じる妻子持ちの周防との東の間の愛の終焉も微妙な三角関係をNHKらしくあっさり描いているようで、ドロドロぶりを想像させるところが見事だ。

スキャンダルでは、『花子とアン』も負けてはいない。当時は絶対ありえない貴族であり大富豪の妻がなんと浮気の末、新聞で夫に離縁状を叩き付けたという事で日本中を大騒ぎにさせているし、花子も夫との結婚はいわゆる《略奪愛》だ。ドラマでは、花子も先妻の死でうまくいったように見えるが嘘っぽい。また、柳原白蓮がモデルの蓮子もドラマでは、勝手に新聞に載せられたように描いているが、事実はかなり周辺の人達の計算づくの所があり、ご本人も掲載を知っていたと思う。

↑アンの家のモデルになったモンゴメリーのいとこの家

朝ドラだからテーマが違うからそういう男女のドロドロは描けないのだろうが、それなら朝ドラにするなよっと思うし、最初から最後まで綺麗事に済ませるのは、いかがなものか？

『カーネーション』の三角関係も関わる三人と近藤正臣演じる組合長・三浦の采配でしばらく微妙な関係が続き、糸子の決断で決着をつける。が、そこには激しい心の痛みが見える。一方、『花子とアン』は物語のリアルさがない。

事件で苦悩した伊藤伝右衛門がモデルの伝助を吉田鋼太郎が演じなければ、この話はまったくしらける話になっていた。

また、お話はまだ終わっていないが、《腹心の友》というのなら、醍醐さんだろ？って思うがどうだろう？

終。

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。m(_ _)m

『ローマでアモーレ』

WOWOWシネマ

2012年 アメリカ イタリア
監督 脚本 出演:ウディ・アレン
出演: アレック・ボールドウィン ロベルト・ベニーニ ペネロペ・クルス
ジュディ・デイヴィス グレタ・ガーウィグ エレン・ペイジ

9月12日(金) 11:00

イタリア・ローマ。
アメリカから旅行に来たヘイリーはイタリア男・ミケランジェロと愛し合うように。そこでヘイリーの両親がイタリアに来てミケランジェロの両親と初対面する。しかし、ヘイリーの父（ウッディ・アレン）は演出が奇天烈すぎてアメリカ演劇界から引退を余儀なくされた男で…。
仕事を探す為、新婚のアントニオとミリーはにローマのホテルに宿泊。ところが、ミリーは美容室に行く為ローマの街に出て迷ってしまう。一方、アントニオはホテルの部屋を間違って入ってきたコールガール・アンナ（ペネロペ・クルス）にびっくり！手違いでアンナを妻だと誤解され、仕事を紹介してくれる親戚のパーティにアンナと出席する事になり…。
恋人にアメリカからの友人が訪ねてきて、その友人に振り回される男の話など、ローマで起こったエピソードは実に楽しい。

私は、ウッディ・アレンのエピソードとアンナ演じるペネロペ・クルスのエピソードがおすすめ。

『プラトーン』

スターチャンネル

1986年 アメリカ イギリス
監督 脚本 製作:オリヴァー・ストーン
出演:チャーリー・シーン トム・ベレンジャー ウィレム・デフォー
フォレスト・ウィティカー ジョニー・デップ

9月10日(水)23:00 【チャンネル2】
9月12日(金)18:30(吹) 【チャンネル3】
9月24日(水)14:00(吹) 【チャンネル3】
9月30日(火)25:30 ⇒ 10月1日(水)1:30【チャンネル2】

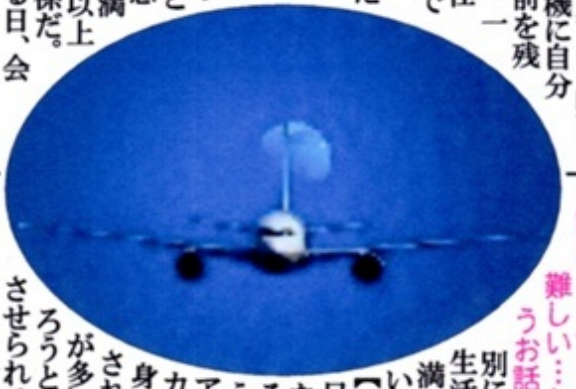
1967年のベトナム。アメリカはベトナムとの戦争は泥沼化していた。クリス・テイラーはある理由から、有名大学を退学してこの戦いに参加する。クリスはバーンズ隊長率いる小隊（プラトーン）に配属され最前線に向かう。
バーンズ隊長は顔に傷があり、戦火の中を潜り抜けてきた強者（つわもの）で非情を貫く男、班長のエリアスはたとえ戦場とはいえ人間としての生き方を貫く男。まったく違う考えの二人は常に対立していてクリスは戸惑う。
ある日、ベトナムの村を見つけ村人にベトコンの事を詰問するが、何も言わない村人をバーンズは殺してしまう。それを知ったエリアスは激怒しバーンズを責めるが…。

ポスターに使われるシーンで象徴される戦争の矛盾を見事に描いた傑作。
ベトナム戦争とはアメリカにとっては重大な転換期だった事がわかる。

『マイレージ、マイライフ』

2009年 アメリカ
監督 脚本：ジェイソン・ライトマン
脚本：シェルタン・ターナー
出演：ジョージ・クルーニー
ヴェラ・ファーミガ
アナ・ケンドリック

会社の指名するリストラ指定社員に《解雇》を告げる事を仕事としているライアン。おかげで年中アメリカ中を飛び回っていたが、彼なりに人生は充実していて、現在の目標は、マイレージを千万マイル貯め、飛行機に自分の名前を残す事。一方、仕事先で知り合ったキャリアウーマンのアレックスとは、恋人未満友達以上の関係だ。



ある日、会社からインターネットを利用してのリストラの新システムを開発し出張を廃止する案を提案した新入社員のナタリーを紹介される。ライアンは、《感情》の入らないシステムに反対。そこで、会社はリストラの実情を教える為、仕事にナタリーを同行させる、そこで《解雇通告》の現場を体験してナタリーはショックを受ける。
そん中、ライアンは人生に何かが足りない事に気付き始める…。

人間関係を切るのは簡単だが作るのは難しい…というお話。

別に今の生活に不満はないが、【何か】足りない…。そういう人がアメリカには身につまされる人が多いのだろうと考えさせられる映画。しかし、これはアメリカだけではあるまい、今や日本では高校生でも生きる目的がないっと思っている子が多いと聞く。そう考えると日本の方がもっと深刻なのかもしれない。
クールなライアンを演じるのがジョージ・クルーニー、はまり役です。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movi

☆読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらコメントでご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！(^_^) 貴樹諒音

☆次回発行・9月19日。発行予定は第一・三金曜日です。(^_^)

【編集後記】

☆秋霖雨に
涼しく過ごす
しずかな夜
しかし忍び寄るかな
酷暑の残骸

☆最近のこの夜の涼しさは怪しい…。
皆様体調にお気を付け下さい。
かしこ。(^_^)

シネマズライフ67号
✻ 発行人：貴樹諒音 ✻
発行日：2014年9月5日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
✻ 告知ブログ ✻
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

シネマズライフーcinemaz-lifeー ６７号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi
著者：貴樹 諒音
メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**
著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html

《WOWOWシネマ》
『ローマでアモーレ』
《スターチャンネル》
『 プラトーン 』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画
rion_takagiのMyムービー
http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--

※＆ 他にもいろいろやってます。**(^^;)** ※＆
お世話になっているインターネットＴＶ
netchannel KYO
内で番組作ってます。
『カラフルタイムズ』
新タイプの映画紹介とコラムです。
m(_ _)m ダウンロードで鑑賞できます。 **m(_ _)m**
http://www.nc-kyo.com/watchtvprogram_karafuru.html

『オススメ犬映画』
http://www.pet-c.net/column/movie/index.php
犬の映画を紹介してます。

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※
感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸です。
cinemaz-life@movie.nifty.jp
§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：ブクログのパブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社paperboy&co.